

《板書》

ホワイト ボードの掲示	ホワイト ボードの掲示	ホワイト ボードの掲示
----------------	----------------	----------------

- ・ 相手の気持ちを思いやる。
- ・ いけないことは、注意する。

本当にできる？

○ネットに投稿する時に気を付けなければならないことには、
 どういうことがあるのか。

- ・人が傷つくことは書かない。
- ・個人情報を書かない。
- ・ウソやデマ×

○コウタが、翌日あわててイチロウに電話したのはどうしてだろう。

- ・投稿をやめさせよう。
- ・人の悪口を書かせてはいけない。
- ・注意できなかった自分が許せない。

アンケート結果

短文投稿サイトに友だちの悪口を書くと

◆「学び合い」◆



◆書く時間の確保◆



《生徒の振り返り》

- 情報はとてもこわいので、何か投稿するときは、ちゃんと考えて、人の気持ちも自分の気持ちもしっかり考えられるようにしていきたいです。
- 望ましい友達関係とは、一緒にいて楽しいだけでなく、対等な関係、そして悪いところも注意し合える何でも相談できる関係が大切であることに気づくことができました。

《成果と課題》

(○成果 ●課題 ◎今度に向けて)

- 中心発問においてテーマ発問を設定したことにより、情報モラルに関わる問題の根底にある道徳的価値について考えを深めることができた。
- 生徒の興味を引くアンケートからの導入ができたことにより、情報モラルに関わる問題に対して自分ごととして考え、課題意識を引き出すことができた。
- 生徒の発言を予想し、問い返しを意識的に行ったことにより、生徒が多面的・多角的に考えられる場面が多くなった。
- TTを活用し、教材の範読や板書、生徒の意見の見取りをしているが、効果的に見取り、つなげ、深い学びとなるよう、よりTTを活用する授業展開にしていきたい。
- ◎ ワークシートに書いている意見を「読む」だけでなく、自分の意見を「語れる」生徒に育てていくために、本音で話することができる学級集団づくりを行うとともに、更なる話す場面の設定や言い切るまで待つ姿勢などを意識して授業を行っていきたい。
- ◎ 「情報モラル」に関する指導がさらに効果的な取組となるよう、他の教育活動や教科との関連について修正・見直しを行っていききたい。